

世界の短編小説を読む

講師 = **立野正裕** (元明治大学教員)

今期はシチリア文学の特集である。古来複雑な曲折をたどり、つねに歴史の重要な舞台に登場させられてきたシチリア。地中海特有の風土と歴史があいまって、たぐいまれな文学の沃土が形成され、幾多の才能を輩出させてきた。近代以降の代表的な四人の作家を取り上げる。

なお、課題作品はすべて『短篇で読むシチリア』(武谷なおみ編訳、みすず書房)に収録されている。

- | | | |
|---------|----------------------------------|--|
| シリーズ第①回 | 5月22日(水)
開始 18:30
終了 21:00 | ジュゼッペ・トマーゾ・ディ・ランペドゥーザ作
「 幼年時代の場所 」 |
| シリーズ第②回 | 6月5日(水)
開始 18:30
終了 21:00 | ジョヴァンニ・ヴェルガ作
「 金の鍵 」「 ルーパ 」 |
| シリーズ第③回 | 8月28日(水)
開始 18:30
終了 21:00 | フェデリーコ・デ・ロベルト作
「 ロザリオ 」 |
| シリーズ第④回 | 9月25日(水)
開始 18:30
終了 21:00 | ルイージ・ピランデッロ作
「 真実 」「 免許証 」 |



ランペドゥーザの代表作『山猫』、ヴェルガの代表作『マリヴォルガ家の人々』、ピランデッロの『カオス・シチリア物語』などは映画化されている。シチリア理解を深めるため、紹介かたがた講座で、もしくは日時を設定して適宜上映したい。



映画『山猫』(原作者 ランペドゥーザ)
(ルキノ・ビスコonti監督、1963年、伊・仏合作)

受講料 = 1回 1500円 (学生 1000円) 1回あたりの受講料が割安になる8枚綴りの受講券もあります。お気軽にお問い合わせください!

講師プロフィール 立野正裕 (たての・まさひろ) 元明治大学文学部教授。専攻は近現代の英米文学だが、日本の戦後文学についても評論活動をおこなう。一貫して現代における非暴力主義の思想的可能性を探求し、その問題意識から近年は第一次大戦期の「戦争詩」を「塹壕の思想」として新たにとらえ直そうと試みる。著書、『精神のたたかい——非暴力主義の思想と文学』、『黄金の枝を求めて——ヨーロッパ思索の旅・反戦の芸術と文学』、『未完なるものへの情熱——英米文学エッセイ集』、『世界文学の扉をひらく』シリーズなど多数。最新作に『スクリーン横断の旅』、『百年の旅——第一次大戦 戦跡を行く』(以上、彩流社)などがある。立野正裕著・シリーズ『世界文学の扉をひらく』▶

世界文学の扉をひらく

第一巻
運命をめぐる人たちの物語
立野正裕

